

「ひきこもり」

2013年11月24日(日)・2014年4月13日(日)

2013年11月24日(日)12:30~14:30 ※終了致しました。

テーマ①

「ひきこもり訪問、この15年」

～人生を豊かにするひきこもり～

寺出 壽美子 (ソーシャルワーカー・当協会理事長)



1テーマからでも
受講可能です!!

2013年11月24日(日) 14:50~16:50 ※終了致しました。

テーマ②

「ひきこもりが終わるとき」

～“正しい”ひきこもりってなんだろう?～

芹沢 俊介 (社会評論家)

2014年4月13日(日) 12:30~14:30

テーマ③

「『こもる』ことをすすめる理由」

～“子どもセンターパオ”の取組み～

多田 元 (弁護士・子どもセンターパオ代表理事)



2014年4月13日(日) 14:50~16:50

テーマ④

「不登校・ひきこもりを解く」

～<『治療論』><私の出会った子どもたち>～

高岡 健 (児童精神科医)

<お申し込み方法など>

受講料：◆一般：1講座 3,800円、全4講座 12,000円

◆学生割引(25歳未満)及び職場団体割引(5名以上)：1講座 1,800円、全4講座 6,000円

◆学校団体割引(5名以上)：1講座 1,700円、全4講座 5,800円

※講師の皆様には遠方よりお越しいただいておりますため、受講料の見直しを行いました。

ご了承くださいませようお願い申し上げます。

振込先：みずほ銀行 成城支店 普通 8045776 特定非営利活動法人日本子どもソーシャルワーク協会

定員：50名

お申し込み：申込用紙をお持ちでない方は、電話かメール(Email: swkoza@jcsww.jp)にてご連絡ください。申込用紙をお送りいたします。当協会のHP(<http://www.jcsww.jp/>)からダウンロードすることも可能です。郵便、FAX、メール等にて事務局宛にご送付ください。申込書のご送付後、10日以内に受講料のお振込みをお願いいたします。お振込みを事務局にて確認させていただいた時点で、受付完了となります。受講料の返金はいたしませんので、ご了承ください。

スケジュール：1テーマにつき120分(講義90分、休憩10分、質疑応答等20分)

会場：成城ホール4階 集会室(小田急線「成城学園前」駅下車。徒歩3分)

※諸事情により、講師・内容等が変更になる場合もございます。その場合、HPにてお知らせいたします。

ソーシャルワーク講座・第10期

「ひきこもり」

本講座は、興味をお持ちの方であれば、どなたでもご参加いただけます。

これから子どもや家族にかかわろうとしている方や、すでに現場で活動されている皆さまのご参加をお待ちしております。

日本子どもソーシャルワーク協会のソーシャルワーク事業

- 「ユースワーカー」派遣：登校拒否やひきこもり、発達障がい等の子どもに寄り添う派遣事業です。
 - 「ケアワーカー」派遣：養育困難家庭やひとり親家庭での育児・家事のサポートをすることにより、親子を支える派遣事業です。
 - 「びあすぽ」事業：就学・就労・生活の自立等のサポートをすることにより、非行からの立ち直りを支える事業です。
- ※ 上記のソーシャルワークの現場をご用意しております。現在も、多くの学生さんや主婦、社会人の方に、ご活躍いただいております。

講座後、興味のある方は、ぜひワーカー活動にお申込みください（ワーカー活動は有償です）。

【講師のご紹介】

◇寺出壽美子（ソーシャルワーカー・当協会理事長）

慶應義塾大学文学部卒業。教員、子どもの本屋店長、学習塾代表、児童養護施設ボート金が谷施設長などを経て、現在、NPO 法人日本子どもソーシャルワーク協会理事長、東邦大学薬学部非常勤講師。虐待、いじめ、不登校・ひきこもり、家庭内暴力、薬物、少年事件、嗜癖、摂食障害など、多岐にわたる分野で、子どもと親への面接相談や、支援に従事している。共著に『いじめ、いま親にできること』他、調査研究報告書に「東京・神奈川・埼玉のひとり親家庭ホームヘルプサービス事業に関する支援状況の調査報告書」「世田谷区における養育困難家庭の実態調査報告書」がある。

◇多田元（弁護士・子どもセンターパオ代表理事）

1944 年生まれ。愛知県弁護士会子どもの権利特別委員会委員長、全国不登校新聞社代表理事、子どもセンターパオ代表理事、南山大学法科大学院教授。1969 年から 1988 年まで裁判官、その間、10 年間家庭裁判所で少年非行事件を扱う。1989 年名古屋市中で弁護士開業。少年事件の弁護、教育裁判のほか、不登校・体罰・いじめ・子どもの虐待など、子どもの人権問題の相談・弁護活動。医療の分野での患者の人権・医療過誤問題を中心に扱う。弁護士と少年事件の対話『少年事件で心は裁判でどう扱われるか～弁護士と少年事件の対話～』（高岡健 編著）にその取り組みが紹介されている。

◇芹沢俊介（社会評論家）

1942 年生まれ。上智大学経済学部卒。文芸・教育・家族など幅広い分野の評論活動を行っている。現代の家族や学校の切実な課題、子どもたちの問題を独自の視点で捉えている。著書に『引きこもりという情熱』『存在論的ひきこもり論』『いじめが終わるとき』『母という暴力』『もう一度親子になりたい』『親殺し』『孤独』から考える秋葉原無差別殺傷事件』（高岡健氏との共著）他多数。近著に、『家族という意志』『子どものための親子論』などがある。

◇高岡健（児童精神科医）

1953 年生まれ。岐阜大学医学部卒業。岐阜赤十字病院精神科部長などを経て、現在、岐阜大学医学部准教授。日本児童青年精神医学会評議員。「精神医療」編集委員。主な著書に『学校の崩壊』『新しいうつ病論』『発達障害は少年事件を引き起こさない』『少年事件心は裁判でどう扱われるか』『精神鑑定とは何か』『不登校を解く』『不登校・ひきこもりを生きる』『孤独』から考える秋葉原無差別殺傷事件』他多数。近著に『発達障害という希望』（石川憲彦氏との共著）『続やさしい発達障害論』がある。

【会場のご案内】成城ホール4階 集会室

東京都世田谷区成城 6-2-1

（小田急線「成城学園前」駅下車。北口から徒歩3分）

お問合せは…

NPO 法人 日本子どもソーシャルワーク協会 事務局

〒157-0066 東京都世田谷区成城 2-29-12

TEL:03-5727-2133 FAX:03-3416-6994

講座に関するお問合せ、お申し込みは、E-mail : swkoza@icsw.jp まで

その他のお問合せは、E-mail : kodomo-sw@icsw.jp まで

HP : <http://www.icsw.jp/>（申込用紙のダウンロードはこちらから）

